

3歳児 年間指導計画

		I期（4月～5月上旬）進級児	I期（4月～5月上旬）新入児	Ⅱ期（5月中旬～7月）	Ⅲ期（9月～10月上旬）	Ⅳ期（10月中旬～12月）	V期（1月～3月）
ねらい	子どもの姿	・進級したことを喜ぶ様子もあるが、新しい担任や保育室になり、環境の変化から戸惑ったり保護者と離れにくかったりなど、不安定な様子も見られる。 ・保育者と関わったり、以前から親しんでいた玩具や友達と遊んだりしながら、個々のペースで新しい環境に慣れ安定していく。 ・これまでのクラスと一緒に過ごしてきた友達の名前を呼んだり、同じ場で遊んだりして、お互いの存在を感じて過ごす様が見られる。 ・園生活において知っていることがたくさんあり、慣れ親しんだ道具や用具を使う中で、自分なりに思いついたことを保育者と一緒にやってみようとする姿が見られる。 ・子ども園での生活に慣れていることから、周りが見えており、新入児の様子をじっと見るなど、新入児のことを気にする様子が見られる。	・新しい生活に喜んで参加する子どももいるが、初めての集団生活である子どもが多く、保護者と離れにくい子どもや、不安そうな表情の子どもが見られる。 ・保育者とふれあったり遊んだりすることで少しずつ不安になる時間が短くなっていく。 ・興味をもった道具や玩具で遊んでみる姿が見られる。また、保育者と一緒に友達がしている遊びを見ている中でやってみたいことを見つけ、遊ぶ姿も見られる。同じ場で遊んでいる子どもも、面白く感じていることはそれぞれである。 ・身支度や片付けなどは個人差が大きい。保育者と一緒に一つ一つ丁寧にやる経験を重ねていくことで、少しずつ自分でやってみようとする姿が見られるようになってくる。	・子ども園の生活に慣れ、喜んで登園できるようになってくる。しかし、これまで泣かずに頑張っていた子どもが泣いたり行き渋る様子があったりなどまだまだ不安定な様子を見せることもある。 ・園生活の流れが少しずつわかるようになり、身の回りのことなど、手伝いが必要だった子どもも自分でできることを頑張ろうとする姿が見られる。これまで気持ちが悪かった子どもは、保育者が見通しを伝えながら一緒にすることで、自分でできたことを喜ぶ姿が見られる。 ・水や泥、泡などを使った遊びを、全身で存分に楽しむ姿が見られる。遊ぶ中で感触、色、重さなどを比べることが面白く、繰り返し楽しんでいる。感触などに抵抗がある子どももいるが、保育者や友達がやっている様子を見て、自分のペースで少しずつ関わろうとする姿が見られる。 ・友達との関わりが広がってくる中で、思いのぶつかりからトラブルが増えてくる。 ・保育者やクラスの友達と歌ったり絵本を見たりなど、クラスのみんなと一緒に活動することも楽しめるようになってくる。	・夏休み明けは、園生活に慣れるまでに戸惑う子どもも見られる。少しずつ園生活のリズムを取り戻していく。 ・実習生がいることを喜ぶ子どもが多い。実習生と遊んだり話をしたりすることを楽しむ姿が見られる。 ・遊ぶ中で「こんなふうにしたい」という思いが生まれ、自分なりに考えた思いをついたことを試す姿や、「もっとこうしたい」と遊ぶ姿が見られるようになる。 ・運動会やみんなとする活動で、思い切り走ったり、同じ学年の友達と同じようなイメージで遊んだり、リズムののって体操をしたりすることを共に経験することで、大勢の友達と一緒に過ごす楽しさがわかるようになる。 ・友達や保育者がしていることに興味をもち、真似と一緒にやってみようとする姿が見られるようになってくる。	・友達の様子を見て、「自分もやってみよう」と、これまでしていなかった少し難しいと思われるようなことに意欲的にやってみようとする姿が見られるようになる。 ・繰り返しやりたい遊びをする中で、少しやり方を変えてみたり、コツを掴んだり、思いついたことを自分なりに試してみたりするようになる。また、用具の使い方が巧みになってくるに伴い、自分なりに工夫をしたり、自分のこれまでの経験と遊びを関連付けたりする姿も見られる。 ・安定した気持ちで過ごすことができるようになる。保育室に集まった時などに、顔を見合わせて笑いあったり、名前を積極的に伝えたり、手をつないだり、やりとりをしたりする様子が見られ、同じクラスの友達への親しみをもち、いろいろな友達とかわかることができるようになってくる。 ・身の回りのことのできるようになることが増え、保育者のすることを真似たり手伝ったりするようになる。 ・友達やお楽しみ会など、数日先の行事や予定がわかり、期待に胸を膨らませたり、保育者と一緒に準備をしたり、友達と話をしたりして楽しむ姿が見られる。	・遊びの楽しさを感じながら、じゅくり満足するまで遊びを長く続けられるようになってくる。 ・自分の思いを素直に出して表現したり、友達の気持ちにも気付いたりするようになり、イメージを共有しながら一緒に遊ぶ楽しさが味わえるようになる。同じ場で遊ぶ友達とのやりとりが活発になり、遊びが少しずつ変化したり、面白さが増えたりしていく。 ・年少組2クラスと一緒に生活し、これまでよりたくさんの友達と過ごす雰囲気を感じ、年中組への期待をもてるようになっていく。 ・自分の思いや感じたことを相手に言葉で伝えることができるようになってくる。 ・遊びに必要なものを自分で出してきたり、じゅくり工夫をしたりなど、自分が思い描いたことを実現させようとする姿が見られるようになる。 ・身の回りのことや片付け、遊びや活動の準備などを進んでしようとする子どもも多い。頑張っていることを保育者に認められることや、自分でできたことが嬉しく、更にやろうとする姿が見られる。
	地球の中で	【世界を広げる】 【つながりに気づく】 【参加・参画】					
	基礎となる力	○興味関心をもって様々な環境（ひと・もの・こと）にかかわる／園生活を楽しむ ○園庭や地域の自然に親しむ／五感を使い、さまざまな感覚を味わう ○喜んだり、泣いたり、怒ったり、さまざまな情動を体験する／気持ちや思いを他者と共有する（共感）					
	安心・安定	○園にかかわるすべての人が多様なままだに受け入れられ大切にされて過ごす ○園という環境（ひと・もの・こと）に慣れ親しみ、安心して過ごす ○一人ひとりのものの見方や考え方を大切にされ、安心して表現する ○くつろいで過ごし、心身の疲れが癒される					
安全・健康	○生理的欲求が、十分に満たされる ○のびのびと体を動かし、さまざまな運動を楽しむ ○保育者とともに病気の予防や基本的な生活習慣の形成に取り組み、健康に気をつけて過ごす ○危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方がわかり、保育者とともに安全に気をつけて行動する ○自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる						
教育内容	自分から	○知っていることややりたいことに自分のペースで取り組みようとする。	○自分の興味のあるもので遊んでみようとする。	○遊びや生活の中で、自分のペースで楽しみながらやってみようとする。	○遊びや生活の中で色々なことをやってみようとする。	○遊びや生活の中で、少し先のことに期待感をもって自分でできることに取り組みようとする。	○自分でできることが増えていくことを喜び、いろいろなことに自信をもって取り組もうとする。
	創造する	○自分で思いついたことや考えたことをやってみようとする。	○自分の興味のあるものを見つけ、自分なりの楽しさを感じる。	○様々な物の性質や仕組みに気づき、比べることの面白さを感じ、繰り返し楽しむ。	○自分なりの思いをもって面白いと感じたことを納得がいくまで楽しむ。	○自分なりに工夫をしたり関連付けたりして遊ぶことを楽しむ。	○自分の思いや考えを形にしていきながら遊ぶことを楽しむ。
	人とともに	○新しい担任に信頼を寄せたり、これまで一緒に過ごしてきた友達に親しみをもったりしながら過ごす。	○担任に信頼を寄せながら過ごす。	○友達にも自分と同じように思いがあることを知り、友達の思いや気持ちにふれながら一緒に過ごすことを楽しむ。	○友達に親しみ、一緒に過ごしたり同じようなイメージで遊んだりすることを楽しむ。	○友達と面白さを共有し、同じ場で過ごしたり一緒に遊んだりすることを楽しむ。	○自分の思ったことや感じたことを言葉で相手に伝え、相手の気持ちに気づき、かわりながら遊ぶことを楽しむ。
環境構成◆援助 ▲	内容	・これまでの園生活での経験から、登降園の準備などを自分のペースで取り組む。 ・保育者の援助を受けながら、自分なりに新しいクラスでの生活の仕方を知り、やってみようとする。 ・保育者や友達と楽しみながら給食を食べる。 ・新しい担任とスキップや、おどろき遊びなどを楽しむ。 ・慣れ親しんだ友達の名前を呼んだり同じ場で遊んだりする。 ・自分だけの遊びをしている中で、アイデアを出し、保育者と一緒にやってみる。 ・身近な春の自然や生き物を見たりふれたりなどして、楽しさや面白さに気付く。 ・繰り返しものや自分からやりやすいストーリーの絵本や紙芝居などを、楽しみながら聞く。 ・自分の気持ちや思い、感じたこと、して欲しいことなどを保育者に身振りや言葉で自分なりに伝えたり、分からないことを尋ねたりする。 ・園内のある職員に挨拶をしたり、言葉を交わしたりする。 ・保育者や友達と一緒に歌や手遊び、ダンスなどに楽しみながら取り組む。 ・様々な素材や用具を使ってかいたりつくり出す。 ・保育者や新入児と一緒に歌や手遊び、ダンスなどをする。	・給食を保育者と一緒に楽しみながら食べる。 ・保育者と一緒に、登降園の準備や着替え、用便など身の回りのことをやってみようとし、少しずつ慣れる。 ・年中行事などを通して、伝統的な文化に興味や関心をもつ。 ・担任とスキップや、おどろき遊びなどを楽しむ。 ・保育者の名前を呼んだり、友達の名前を知ったりする。 ・自分の好きな遊びや場所を見つけて遊ぶ。 ・身近な春の自然や生き物を見たりふれたりして興味をもち、楽しさや面白さに気付く。 ・絵本や紙芝居に興味や関心をもち、保育者と一緒に楽しむ。 ・保育者の話を期待をもって聞く。 ・自分の気持ちや思い、して欲しいこと、分からないことなどを保育者に自分なりの方法で伝えようとする。 ・保育者や友達と一緒に歌や手遊び、ダンスなどを楽しみながら取り組む。 ・保育者や友達と一緒に歌や手遊び、ダンスなどをやってみる。 ・様々な素材や用具を使ってかいたりつくり出す。 ・様々な素材や用具を使ってかいたりつくり出す。	・手洗いや排泄、衣服の着脱などを自分でしようとする。 ・水遊びの約束事を知り、守ろうとする。 ・夏の生活に必要なことを知り、自分でやってみようとする。 ・保育者や友達のしていることに興味をもち、真似たり触れ合ったりして遊ぶ。 ・友達と物や物を共有して遊ぶ。 ・保育者に仲立ちをされながら友達の思いや気持ちに気づく。 ・新入児の世話をしたり、気遣ったりする。（進級児） ・年長児や年中児が取り組んでいる遊びに興味をもち、真似でやってみようとする。 ・自分なりに水に親しみながら水遊びやプール遊びをする。 ・年中行事などを通して、伝統的な文化に興味や関心をもつ。 ・ものの色や大きさ、重さ、形、触れなどを比べ、違いに気づいたり楽しさ、不思議さを感じたりする。 ・身近な草花や生き物を見たり触れたりして親しみをもつ。 ・色々な道具や用具に関心をもち、試しながら使ってみる。 ・したいことやほしいことを動作や言葉で伝えようとする。 ・生活や遊びの中で様々な言葉に出会い、言葉の面白さや楽しさに気付く。 ・絵本や紙芝居などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。 ・遊びや生活に必要な言葉を知る。	・友達や保育者と走る、リズムに乗って踊るなど自分のイメージした通りに身体を動かす。 ・暑い日が続くので、こまめに水分補給をしたり、休息を十分にしたりすることの大切さを3歳児なりに理解し、やろうとする。 ・遊びや生活の中で、友達や保育者の考えや思いにふれる。 ・実習生と一緒に、一緒に遊んだり話を聞いたりする。 ・年長児や年中児が取り組んでいる遊びに興味をもち、真似でやってみようとする。 ・自分の好きなことや得意なことに関わり合い取り組む。 ・友達と接する中で、友達の好きなことや得意なことに気付く。 ・自分が知っていることを友達に伝えたり友達が知っていることに関心をもったりする。 ・公共の施設を使う際のマナーを知る。 ・思いをもって自分のやりたい遊びをする。 ・したいことやほしいことを動作や言葉で伝えようとする。 ・自分のクラスや隣のクラスの保育者、友達と一緒に同じようなイメージで遊んだり過ごしたりする。 ・様々な素材や用具を使い、自分なりに工夫しながらかいたりつくり出す。 ・生活の中で、保育者がしていることを手伝ってみようとする。	・身の回りのことをできるだけ自分でしようとする。 ・道具や用具を大切に、友達と分け合ったり順番に使ったりする。 ・少し先のことに期待感をもって、自分なりに考えたり、考えたことをやってみようとする。 ・友達のことを気にかけて手伝ったりする。 ・友達と面白さを共有する。 ・木の葉の形に合わせて道具や用具を選んで使う。 ・木の葉や木の実などの自然物の美しさに気づいたり、遊びに取り入れたりする。 ・保育者と一緒に簡単なルールを守って遊ぶ。 ・自分の経験したことや思ったこと、感じたことを保育者や友達に話そうとする。 ・遊びに必要な簡単な言葉のやり取りをする。 ・音楽に合わせて動いたリズム楽器を鳴らしたりする。	・寒さに負けず戸外で体を動かして遊ぶ。 ・基本的な生活習慣や生活のリズムを身に着け、自分でできることを進んで行う。 ・クラスでの活動や遊びに気持ちを向け参加する。 ・隣のクラスの保育者や友達とみんなと一緒にする活動をしたり、給食を食べたりする。 ・友達のやりとりや友達の表情などから友達の気持ちに気付く。 ・水や霜など冬の自然に触れ、冷たさや楽しさ、不思議さなどに気付く。 ・こま回しや給食など伝承遊びに興味をもち、保育者や友達と遊ぶ。 ・保育者や友達と言葉を交わしながら遊ぶ。 ・好きなものになりきって遊ぶ。 ・クラスのみんなと同じイメージをもって遊ぶ中で、声を含わせたり、気持ちを共有したりする。 ・友達と一緒に歌ったりリズム楽器を鳴らしたり体を動かしたりする。
	養護のねらい	生命の保持	○個々に合わせて丁寧にに関わり、生活に必要な基本的な生活習慣を身に着け、少しずつ自分のことを自分でできるようにしていく。	○個々に合わせて丁寧にに関わり、生活に必要な基本的な生活習慣を身に着け、少しずつ自分のことを自分でできるようにしていく。	○夏を快適に、安全に過ごすよう、声を出したり健康状態に留意したりする。	○残暑が続くため、室温の調整をしたり水分補給や汗の始末の仕方を伝えたりして、快適に過ごせるようにする。	○手洗いや、衣服の調整などを呼び掛けたり、室温・湿度などに配慮し、健康に過ごせるようにする。
情緒の安定	○ありのままの気持ちを丸ごと受け止め、個別に関わりを深めていき安心して園生活を送れるようにする。	○一人一人を温かく受け入れ、信頼関係を着実に築き、子ども達が安心して園生活を送れるようにする。	○一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるように、受け止められ、見守られているという雰囲気づくりをする。	○個々の気持ちに共感したり頑張っていることを丁寧に認めたりし、自信をもてるようにする。	○個々の気持ちに共感したり励ましたり頑張っていることを丁寧に認めたりし、自信をもてるようにする。	○一人一人の成長した部分を認め、いろいろなことに自信をもって進級できるようにする。	
		◆朝の準備の方法や流れ、給食準備や片付け、身の回りのことなどについて、2・満3歳児と同じ方法や流れ、リズムでできるような環境を整えることで、安心して生活し、自分で準備や片付け、身の回りのことができるようにする。 ▲朝の準備や給食などの方法や流れがわかって、自分なりに取り組もうとしている姿を十分に認める。 ▲制服の着脱や保育室外のトイレの排泄など、3歳児クラスでの新たな生活様式に取り組む際には、楽しい雰囲気をつくり前向きに取り組めるようにするとともに、自分でできたことを認めた ▲保育者も遊びの仲間に加わり、子どもが場をつくりたり、遊びを進めたりしようとしていることを一緒に考えたり楽しんだりすることで、子どもが自分のしたい遊びを楽しむことができるようにする。また、保育者と楽しい気持ちを共有し、自分の気持ちを受けとめもらえると感じられるようにする。 ◆子どもが自分で出し入れしやすい大きさや重さの用具を準備しておき、思いついたことや考えたことをすぐにやってみることができるようにする。 ▲子どもが思いついたことを認めたり、やり始めたことを一緒に楽しんだりすることで、進級したことに対する自信につなげ、自分から知っていることややりたいことに取り組み始めるようにしたり思いついたことや考えたことをやってみようとするようにする。 ◆春の草花や子ども達が集めたものを保育室に飾ったり、生き物をじっくり見たりふれたりできるように虫ごを準備したりし、この季節ならではの自然や生き物に親しめるようにする。 ▲新入児が入ってくることを心待ちにできるような雰囲気づくりをしたり話をしたりする。 ▲新入児がいることなど、環境の大きな変化による戸惑いや不安な気持ちに寄り添い、スキップをとったり保育者も一緒に遊んだり、子どもの主張を十分に受け止めることで、子どもが新しい担任にも信頼する気持ちをもてるようにする。 ▲自分にとって居心地の良い場所で過ごしている様子を保育者同士連携を取りながら大切に見守ったり、その場で担任も一緒に過ごしたりすることで、安定した気持ちで過ごすようにする。 ▲進級児が楽しそうに遊んでいる様子を見て新入児もそこの入り口にいる姿が見られるようにする。見守ることは、子ども同士の前で自分で行うことを増やし、楽しさを味わえるようにする。	◆多くの子どもに馴染みのある曲でダンスをしたりパネルシアターを見たりすることで、安心感を抱きながら活動を楽しむようにする。 ◆家庭でも親しんでいると予想されるもの、家庭にはあまりなくて興味をひくやすいもの、手軽に遊び所になりやすいものなど様々な観点から遊び、一人一人がゆくり満ちたなかで遊ぶことができるように、同じ玩具を多めに用意しておく。 ◆春の草花や子ども達が集めたものを保育室に飾ったり、生き物をじっくり見たりふれたりできるように虫ごを準備したりし、この季節ならではの自然や生き物に親しめるようにする。 ▲一人一人の周りのさまざまな姿を十分受け止めて、その思いに寄り添うことで、保育者に自分のことを受け止めてもらう心地よさや安心感をも、保護者以外の大人に信頼を寄せていくようにする。 ▲保育者も子どもと一緒に食事をする、子ども同士に共感するような言葉掛けなどをして、みんなで食べる給食の時間が楽しいものになるような雰囲気づくりをする。	◆長期休み明けで不安定になる子どももいるため、1対1で関わる時間を作るなどして安心して園生活を送れるようにする。 ▲担任が意識的に隣のクラスの子どもにも関わりに行き、担任以外の保育者にも親しみをもてるようにする。 ◆水に対する関わり方には個人差があるため、水遊びやプール遊びの際は安心してみんなが楽しめるよう、活動の内容や順序を工夫する。 ▲個々のペースを大切に、「やってみよう」「面白そう」という気持ちをもてるような声掛けや雰囲気づくりをする。 ▲個々の思いに共感したり、必要に応じて代弁したりして友達の思いや気持ちに気付けるようにする。 ◆セツなど行事で、内容が分かり易い絵本を読んだり歌や歌ったり製作をしたり、飾ったりすること3歳児なりに伝統的な文化に親しめるようにする。 ▲新入児のことを気にかける、世話をしようとしている姿を見て取り、行動や気持ちを認める姿も同時に認め、感謝の気持ちを伝える。 ◆子ども達の関心が高いものや、簡単に共有しやすいイメージを用いて、2クラス一緒に遊ぶ機会をつくり、一緒に遊ぶことで、隣のクラスの友達と一緒に同じようなイメージをもって遊ぶ楽しさを感じられるようにする。	▲少し先のことに期待がもてるように、事前に話をしたり計画的に少しずつ活動を入れていく。 ◆形や色、大きさ、容量など、多様な用具や素材を準備することで、自分なりに考えた工夫したりできるようにする。 ▲それぞれの子どもの工夫したり関連づけて考えたりしながら楽しんでいることを、保育者も一緒に楽しんだり、認めたりすることで、自分なりに考えたり工夫したりすることを楽しくすること、子ども同士のやりとりにつながるようにする。 ◆2クラスが混じれるような遊びや、友達と楽しさを共有できるような遊び場を整える。 ▲園の内外で秋の自然にふれられるような機会を設けたりクラスで話題として取り上げたりすることで、身近な自然に親しむ気持ちをもてるようにする。 ▲友達のことを思いや手助けしている様子を認め、友達の気持ちを代弁するなどして、友達の役に立つ嬉しさを味わえるようにする。 ◆友達と同じ場で遊ぶ楽しさを味わえるような準備の作り方を工夫する。 ▲保育者も仲間に加わり一緒に遊んだり、それぞれの子どもの思いや考えを聞いたりすること、子ども同士の前で自分で行うことを増やし、楽しさを味わえるようにする。 ▲保育者も動いたり声を合わせて楽しんだりしながら一緒に遊ぶことで、友達と気持ちを共有することがより楽しくなるようにする。		

食育	保護者支援
・家庭での食事の様子やこれまでの園での食事の様子を把握し、個々のペースや量で給食を楽しむよう配慮する。 ・色々な食材を見たり触れたりする機会をつくり、食べることに興味をもてるようにする。 ・みんなが楽しく食べるためのマナーについて知らせ、心地よく食事ができるようにする。 ・自分たちで育てた野菜を給食に入れてもらい食べることで、食に対する関心や喜びを味わえるようにする。 ・トイレや果物を運ぶなど、食に対する活動の中で自分で行うことを増やし、楽しさを味わえるようにする。 ・姿勢を良くしたり様々な物を食べてみようとする挑戦したりすると、子ども達自身で頑張ろうとしている時にはその姿を認め、自信に繋げていく。	・進級児の保護者に対して、進級当初の保護者の不安な気持ちを受け止めつつ、園での様子を丁寧に伝えるよう心掛ける。環境が変わることへの不安な気持ちを乗り越えることや、新たな環境に対応していくことが子どもの力になることを伝え、一緒に子どもを信じ見守ったり、その挫けを受け止めたりすることができるようになる。 ・子どもの健康状態や好きなこと、性格などを、個人調査票や個人懇談、前担任との引継ぎを通して知り、個々に沿った保育につなげていく。 ・子どもを初めて集団生活に入れる保護者もあるため、保護者の思いや不安な気持ちを丁寧に受け止める。また、園での様子をこまめに伝え、保護者が子どもを安心して通わせられるようにする。 ・人への関わりが深まり友達と思いがけいづかる場面も出てくるが、両者の思いを伝えながら、保護者の気持ちに寄り添って一緒に子どもの育ちを見守る。 ・運動会などで、内容やその過程、お祝いなどを事前にクラス便りなどで伝え、保護者が子どもがその行事を通してどのようなことを経験し、学んでいるのかを知れるようにする。 ・感染症の発生状況を書いたものを掲示板に貼ったり、家庭でも気を付けてもらうよう呼びかけたりして、子どもが健康に過ごせるよう連携していく。 ・集団生活の中で子どもが経験したこと、頑張っていたことなどを伝え、成長を喜び合う。